

## 原子力リスク研究センター（NRRC） 第22回 技術会議 議事録

1. 日 時：2018年8月31日（金）10：00～12：00

2. 場 所：電力中央研究所 大手町本部 役員大会議室

3. 出席者（順不同、敬称略）

主査： 横尾（NRRC）

委員： 笹田（北海道電力；勝海代理）、飯塚（東北電力；金澤代理）、  
谷（東京電力HD）、伊原・中川・浜田（中部電力）、  
上野（北陸電力）、鈴木・多田・吉原（関西電力）、  
吉谷（中国電力；林代理）、黒川（四国電力）、米丸（九州電力）、  
石坂（日本原電）、大柿（日本原燃）、鞍本（電源開発）、  
河村（東芝；薄井代理）、丸末（日立GE；今野代理）、  
山岸（三菱重工）、渥美（電事連）、多田（電工会）、倉田（原安進）、  
高橋・岡本・白井・梅木・稲田・山本・朝岡（NRRC）

### 4. 議事概要

#### (1) 2019年度研究計画について

○NRRCより、2019年度の研究計画について報告がなされた。

（主なコメント ◆外部委員、◇電中研委員）

◆規制対応文化からリスク情報活用文化に移行しなければならないというのはどうい  
うものなのか。

◇規制対応文化は、規制だからそれを遵守するということだが、リスク情報活用文化に  
おいては、しっかり自分たちでリスクを評価をして、その評価の指標をしっかり持つ  
て、きちんと判断できるようにしようということだと思ふ。

◆レベル2 PRAで、FPの移行挙動については、現実的な放出量を見積もり、安全性向  
上評価の中にとりいれていくのだが、加えて、現実的な放出量評価を事前の災害対策  
にも反映できる。レベル2 PRAだけではなくて、防災にも生かしていけると思ふ。

#### (2) NRRCの活動状況について

○NRRCより、「リスクマネジメントに関するワークショップ（案）」について報告が  
なされた。

◇本ワークショップでは、産業界だけではなく、国外の規制委員会の人達の参加や  
OECD/NEAのマグウッド事務局長に開会挨拶を依頼するなど、調整している。国内  
の規制委員会にも一緒に議論してほしいと依頼していることに加えて、電力側にもご  
発表いただくことになっている。

以上